

「医療機関における結核対策の手引」の改訂について

1 改訂目的

「医療機関における結核対策の手引」は、医療従事者に対して結核の理解およびその対策について深めていただくことを目的として、平成 27 年 3 月に初版を作成した。

初版作成後 6 年が経過し、国通知の改正や外国出生患者の増加、薬剤耐性結核への対応、訪問診療を含む高齢者結核患者への対応など、結核対策をとりまく状況の変化もあることから、初版の内容を見直すとともに、医療従事者がより活用しやすいよう、構成や内容を全面的に刷新し、改訂を行った。

2 改訂の主なポイント

- (1) 全体構成の見直し
- (2) 図や表、フローチャート等を多用し、一目見て分かりやすい構成に改善
- (3) 以下の項目について新たに記載
 - ・結核の診断、フローチャート
 - ・訪問診療(在宅医療)での対応
 - ・新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた対策
 - ・院内 DOTS を含めた診断から治療終了後までの結核患者への対応
 - ・潜在性結核感染症の治療について
- (4) 参考資料の一部については URL を掲載

3 配布先

都内医療機関(病院及び診療所(内科・呼吸器内科、腎臓内科、耳鼻咽喉科、リウマチ科を標榜)、医師会、保健所等

4 検討経過

令和 2 年 9 月 7 日～18 日	結核対策技術委員会及び専門部会を開催 以後、委員からの意見を踏まえ、事務局を中心に改訂案を検討
11 月	専門部会委員から随時意見聴取し、改訂案を作成
令和 2 年 12 月 22 日	専門部会開催
令和 3 年 1 月	専門部会委員からの意見を踏まえ、事務局にて修正

5 今後の予定

令和 3 年 2 月 9 日	結核対策技術委員会にて決定する。
令和 3 年 3 月	配布、都のホームページ上に改訂後の手引きを掲載する。